

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	新市街地地区公園施設新設事業			会計	款	項目	大事	小事
				01	08	04	07	02
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）		主管課	みどりの課			
施策	1-1	生態系に配慮した公園・緑地・水辺等空間の整備・管理		主管課長	本田 英師			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	新市街地地区の公園施設	意図	土地区画整理の整備が進行するエリアに配置された公園の整備を行い良好な環境形成に資する。
事業内容	新市街地地区の公園施設を整備し、身近に安らぐ空間を確保する。			
事業開始から現在までの状況変化	市民の公園に対する要求が高度化してきている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	近隣公園の整備	18107.33			m ²		公園の整備面積
②								
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）		
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		20,102,500		3,560,200				
事業費(b)(円)		16,670,000		264,200				
うち一般財源		16,670,000		264,200				
職員給与費(c)(円)		3,432,500		3,296,000				
人役・職員(人)		0.50		0.50				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	区画整理事業者と連携を図り、良好な住環境を創出する。	③取組における課題(Check)	
②H30に実施した取組(Do)		④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	